

総合テーマ

「飛鳥の歴史と文化遺産」

関西大学東京センター 公開講座

キトラ古墳の「壁画はぎ取り」、そしてその公開と、「国のまほろば」明日香は、昭和47年に発掘された壁画古墳「高松塚」以来の国民的関心を集めています。そして、飛鳥・藤原地域を中心とした日本の古代国家の形成過程をそのまま残し、東アジアとの交流の歴史を伝える遺跡と歴史的風土は、すこぶる大切な文化遺産として、平成19年の1月、ユネスコの世界遺産暫定リスト入りしました（飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群）。世界遺産登録をめざして、じつにさまざまな取り組みがなされています。その一方で、発掘調査や研究によって、あらたな情報がもたらされています。飛鳥は、遺跡・史跡だけではなく、豊かな自然があり、神々がこもり、人びとの営みがあります。

関西大学は、永年にわたって飛鳥に関わってきました。その経緯と研究蓄積を基にして、あらためて「飛鳥」を考える機縁としたいと考えています。

- 会 場 関西大学東京センター
(JR 東京駅日本橋口サピアタワー 9 階)
- 聴講対象 首都圏在住の方
- 受講料金 10,000 円 (全 5 回シリーズ)
- 開催日時 毎土曜日
13 時 30 分～15 時 00 分
- 定 員 200 名 (事前申込制・先着順)

お申し込み・お問い合わせ

関西大学東京センター

東京都千代田区丸の内 1-7-12 サピアタワー 9 階

TEL : 03-3211-1670

FAX : 03-3211-1671

- 第 1 講 2009 年 7 月 4 日 (土)
「日本の文化財と飛鳥の文化遺産」
講師 高橋 隆博 (関西大学文学部教授・
関西大学博物館長)
- 第 2 講 2009 年 7 月 11 日 (土)
「飛鳥の神々」
講師 黒田 一充 (関西大学文学部教授)
- 第 3 講 2009 年 7 月 18 日 (土)
「高松塚・キトラ古墳を知る」
講師 米田 文孝 (関西大学文学部教授)
- 第 4 講 2009 年 7 月 25 日 (土)
「飛鳥と西域文化」
講師 西本 昌弘 (関西大学文学部教授)
- 第 5 講 2009 年 8 月 1 日 (土)
「飛鳥出土の木簡」
講師 乾 善彦 (関西大学文学部教授)